

平成 24 年（2012 年）12 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（2 日目）

平成 24 年 12 月 12 日（水）

※1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	下 地 敏 男 (社 社 連 合)	1 ひきこもり 対策について	全国で約 70 万人に及ぶという「ひきこもり」はその家族にとって深刻な問題であり、大きな社会問題である。以下質問する (1) 本市のひきこもりの実態について (2) その対策について
		2 消防行政に ついて	災害から市民の生命・財産・暮らしを守るため本市の消防力の強化は最優先すべき課題である。安全で安心な防災都市に向けた基盤の整備につながる消防職員の条例定数引き上げについて、以下質問する (1) 定数増による消防力強化の具体策について (2) 定数増に伴う財源確保について
		3 雇用対策に ついて	本県の完全失業率は 7.1%（平成 23 年）と全国一の失業率である。本市もこうした厳しい状況にあり雇用環境を改善する手だてを急がなければならない。以下質問する (1) 本市の完全失業者数とその対策 (2) 母子世帯、高齢者、障がい者等への就労支援
		4 動物愛護行政について	動物の愛護及び管理に関する法律第 2 条は「動物が命あるものであることにかんがみ、何人も、動物をみだりに殺し、傷つけ、又は苦しめることのないようにするのみでなく、人と動物の共生に

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			配慮しつつ、その習性を考慮して適正に取り扱うようにしなければならない」とある。以下質問する (1) 不妊・去勢手術の実施による公園等の猫の繁殖防止に努めてきたか。また、遺棄・虐待の現状について (2) これまでの殺処分減少に向けた本市の取り組み及び中核市移行後の取り組みについて 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（2日目） 平成24年12月12日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	野 原 嘉 孝 (公 明 党)	1 学校の統廃合について	久茂地小学校、前島小学校の統廃合計画について以下伺う (1) 今定例会で両校の統廃合及び新たな学校を設置する条例が提出されている。同条例の成立の前に、統廃合を前提とした予算の執行が始まっているが、当局の見解を伺う (2) 計画当初より地域住民の方々との話し合いが必要であったのではないかと考えるが、見解を伺う (3) 同計画の現状と今後の流れについて伺う
		2 選挙の実施運営について	(1) 今回の衆議院総選挙において、公示日までに選挙はがきが届いていない地域があるか (2) 中核市移行に伴い、屋外広告物法に基づく関連業務が県から移譲されるに当たり、新たな条例制定が今定例会に提出されているが、特に選挙関係の違法広告物の撤去に係る手続きはどうなっているか
		3 福祉行政について	一人暮らしのお年寄りの「見守り」について以下伺う (1) 本市における一人暮らしのお年寄りの数 (2) どのような「見守り」事業を実施しているのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、選挙管理委員長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 24 年 12 月 12 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	平 良 識 子 (社 社 連 合)	1 久茂地小学校統廃合問題とまちづくりについて 2 おもろまち 1 丁目再開発事業について 3 新庁舎移転後のおもろまちの庁舎跡利用計画について	(1) 市長は「久茂地小学校跡地には市民会館を建てたい」と移転を提示しているが、いかなる検討委員会で、どのような調査検討比較をしてきた結果なのか、内容を問う (2) まちづくりの観点から、市当局は統廃合を含め、地域活性化をどう検討したのか (3) 久茂地小学校の子どもたちからの訴えが届いているが、それに対する市長及び教育長の見解を伺う 那覇市地域再生計画事業により現在建築中の超高層マンションにおいて、ことし 9 月 29 日、台風 17 号が直撃した際、ベランダガラスパネル約 10 枚が脱落飛散し、近隣住宅の窓ガラスが割れる等の事故が起こった。以下問う (1) ガラスパネル脱落事故及び被害の状況について (2) 台風の風被害で事故が起こっている以上、設計変更をさせるべきである。再発防止の対応について (3) マンション引渡し終了後、自然災害等による当該物件の脱落事故で近隣住宅被害や人身事故が今後起こった場合、責任の所在はどこにあるのか 仮庁舎と銘苅庁舎の跡利用計画について問う (1) 市当局は、なぜ中学校用地として確保したのか、天久小学校が新設開校したが、同地域の今後の子どもの人口推計はどうなっているか (2) 現在仮庁舎として利活用している当該土地について、新庁舎移転後どうする予定か

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 中核市移行 と市民サービス 向上について	(3) 銘苅庁舎の利活用計画について、おもろま ちのまちづくりとの関連で、どのような検討 がなされたか、その経緯及び結果を問う ソーシャルメディア推進室の設置について 平成 25 年度より、那覇市は中核市に移行する に当たり「特色ある独自のまちづくり」を達成す るため、市政の情報公開、情報発信と双方化、情 報のマネージメント化が必要になってくる。その 中核的な部署の設置を提案する。その意義及び必 要性、実行性について問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 24 年 12 月 12 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	古 堅 茂 治 (日本共産党)	1 政治と政党のあり方について 2 消防行政について	(1) 今、政治のあり方が問われている。選挙公約は有権者への政策実行の約束であるところが、民主党・国民新党連立政権は、前回の総選挙での公約を裏切り、自民党、公明党と手を組んで消費税増税法の成立を強行した このように公約を平気で裏切る政治のあり方について見解を問う (2) “多党乱立”となるなか、政党のあり方も問われている。5日間で消えた政党や、誕生から1週間弱で総選挙を迎える新党など、政策そっちのけで「選挙目当て」と批判される離合集散が繰り返されている。この政党状況に対する見解を問う (3) 大震災から1年8カ月。被災地での懸命の努力にもかかわらず、政府の復興対策が余りに遅く、不十分なために、被災者の命と暮らしが脅かされている 国の財政が厳しい中、各政党が「身を切る」というのであれば、日本共産党以外の政党が受け取っている政党助成金を、真っ先に返上し復興予算に回すべきと考えるが見解を問う 我が共産党那覇市議団は、消防行政の目的「火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資すること」（消防法第一条）を遂行するための体制と対応能力・施策の拡充を一貫して求めてきた 今回の定数増員の措置と本市の消防行政の課題克服との関係について問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 高齢者対策 について	(1) 生活保護を受給している独居老人の年金受給状況を問う (2) 高齢者の外出支援のために、公共交通割引制度について、独居老人を優先するなど、さらなる拡充を図るべきではないか問う
		4 学 童 保 育 (放課後児童 クラブ) に ついて	(1) 全国学童保育連絡協議会は、学童保育指導員の配置基準として、開設期間中は常時複数とすることと、児童数 20 人までは指導員 3 人以上を配置し、21 人から 30 人までは 4 人以上配置を求めている。本市での配置状況を問う (2) 子どもたちが安心して生活できる学童保育をつくるためには、①指導員の仕事・役割の確立、②「専任・常勤・常時複数」配置という配置基準の確立と、その財政的保障、③安心して働き続けられるような労働条件の向上、④指導員の力量を向上させていくための研修の充実、研修体制の確立、⑤学童保育の役割を果たせる指導員が安定的に確保されるための公的資格制度、養成機関の整備 以上 5 点について、国や自治体の公的な責任でその整備を行い、社会的地位の向上を図ることが求められている。見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（2日目） 平成24年12月12日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	大 浜 安 史 (公 明 党)	1 一括交付金について 2 教育行政について 3 都市計画について 4 道路行政について	国際通りを中心とした那覇市 I C T利活用モデル事業「W i F i 化計画」について伺う (1) I C T環境整備(電子黒板)は未来を担う子どもたちにとって大変重要であると考えている。今後の本市小中学校への電子黒板の導入計画について伺う (2) 城北小学校通学路の安全確保について伺う 沖縄都市モノレール延長事業について伺う (1) 市道鳥堀 12 号事業計画について伺う (2) 県道 50 号線、安国寺通りの中一健児の塔入口周辺への道路照明設置について伺う (3) 市道泉崎楚辺線、長濱ビル入口周辺への道路照明設置について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 24 年 12 月 12 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	糸 数 昌 洋 (公 明 党)	1 防災行政について	(1) 防災対策の取り組み状況について ① 自主防災組織づくりの進捗と課題 ② 防災マップの策定状況と課題 ③ 津波避難ビルの協定状況と課題 (2) 台風対策について 本年の台風被害の中で、特に家屋被害、浸水被害の状況と当局の対応について伺う (3) 罹災証明書の発行について 災害時の罹災証明書の発行は、被災し、行き場を失った市民にとって命綱となるものであるが、その発行目的と発行基準について伺う (4) 防災行政における市民との協働について 防災行政は市民、民間事業者との協働作業であるとの観点から、6月定例会において、民間からの協力申し出や、提案に対する当局の対応について質問した どのような姿勢で市民に対応すべきか、防災行政における市民協働、市民とのかかわり方について当局の見解を伺う
		2 農連市場の再開発事業について	議案第 135 号平成 24 年度那覇市市街地再開発事業特別会計補正予算(第 1 号)について、年度末に事業計画の認可申請がずれ込むとの見通しから減額補正となっているが、今後の事業スケジュールと懸案、課題を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 24 年 12 月 12 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	清 水 磨 男 (民 主 党)	1 教育行政について	(1) 教育方針演説の実施について伺う (2) 久茂地小学校の将来と周辺環境について伺う
		2 子育て行政について	(1) 市内のいわゆる学童保育において、事故や劣悪な預かり状況はないか伺う (2) 幼稚園の建て替えなどに伴って、子ども園としての設置や、給食導入は出来ないのか伺う
		3 新市政と新庁舎について	(1) 年末年始の窓口状況を伺う (2) 職員の出勤カードについて伺う (3) 情報化の推進とデジタルサイネージの導入について伺う
		4 文化行政について	(1) 奥武山公園のスタジアム建設について伺う (2) 那覇市出身で活躍する芸能関係者の活用について伺う
		5 萌え行政について	ディズニーへの再度の働きかけ、那覇市としての萌えキャラ、ゆるキャラについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 24 年 12 月 12 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	宮 平 のり子 (社 社 連 合)	1 発達障害支援について 2 療育センターについて 3 保育行政について	文部科学省の調査によれば、公立小中学校の通常学級に、注意欠陥・多動性障害（ADHD）など発達障害の可能性のある児童生徒が6.5%在籍していると推定されることが報告されている。発達障害児童生徒は40人学級で1学級に2～3人いることになる 那覇市の支援の実態と課題について伺う 市長は本年1月3日、3期目の任期最終年としての抱負を認可外保育施設的环境整備、児童クラブの家賃補助増額、発達支援強化は、中核市になる場合の要件として憂いがないようにやっていきたいと新聞紙上で述べている 県内では発達支援に関して実績のある療育センターについて以下伺う 就学前における発達障害の療育について (1) 療育センターの役割と実態について (2) 療育センターの課題について (3) 直轄での運営方針について 保育行政は、保育を必要とする乳幼児・保護者、保育所そして保育に携わる保育士がトライアングルに密接にかかわりがある いつまで入園を待てばいいのか分からないと保育園探しに困っている市民の切実な声が続いている 片や、保育に携わる保育士の待遇について同一の職種でありながら、公立、認可、認可外と格差がある。その中でも正規職員、非正規職員の待遇差も厳然としてある また、保育を受ける乳幼児にも、那覇市民でありながら、公立、認可、認可外と公的な支援に差がある。これらの点について以下伺う (1) 那覇市の待機児童数と待機児童解消策について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 松川共同住宅の消防設備基準達成について	(2) 保育士の月収について 公立保育所、認可保育園、認可外保育施設の保育士の月収について伺う (3) 保育士待遇の格差是正のための施策について伺う (4) 公立保育所の乳幼児、認可保育園の乳幼児、認可外保育施設の乳幼児の公的負担額、そして格差是正のための施策について伺う 松川共同住宅の消防設備基準達成の進捗状況について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長